

令和８年８月１７日（月）１３：３０～１４：１５

高松市立みんなの病院

みんなのホール

【出席者】

委 員：六車直樹委員長、小島章裕委員、元木泰史委員、久保池薫委員、川崎正視委員、
鎌田豊委員、綾田潔委員、鳥山宏美委員、和田大助委員、高橋正幸委員

欠 席：小林弘茂委員、居村暁委員、加藤剛志委員

傍聴者：森谷病院局長、鈴木事務局長、小林看護局長、他７名

【議題】

１．地域医療・患者支援センター実績報告

- （ア）紹介率・逆紹介率
- （イ）救急患者状況
- （ウ）開放型病床利用状況
- （エ）共同利用
- （オ）患者サポート体制・相談件数
- （カ）Ｋ－ＭＩＸＲ 利用状況
- （キ）研修会等の実施状況
- （ク）地域連携の強化、病院訪問
- （ケ）在宅療養後方支援病院の進捗

【院長挨拶】

六車委員長 当院は、この８月いっぱいをもって移転開院後から８周年を迎える運びとなった。これまで地域医療に一定の役割を果たしつつ、貢献できているかに自負している。これも本地域医療連携推進委員会の委員の皆さまを始め、多くの関係者の方々の支え、御指導によるものと、改めて感謝を申しあげたい。今後も地域になくてはならない病院として成長を遂げてまいりたい。

【新任委員挨拶】

久保池委員 高松市コミュニティ連合会の理事をしております。どうぞよろしくお願いします。

川崎 委員 高松市保健委員会連絡協議会の会長をしております。一般の目線で意見させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

【特定行為認定看護師の活動について】

鳥山 委員 地域医療連携だよりに、３名の看護師が特定行為研修を終了したと掲載されている。地域医療・患者支援センターとして、特定行為研修を終了した看護師はどのような活動を行っているのか。

橋本副センター長 当センターが開催するセミナーや研修会等で、講師として協力いただく予定である。

鳥山 委員 特定行為研修は地域へ繋いでいく事が非常に貴重なので、引き続き活躍されることを期待している。

【K-MIX の利用について】

綾田 委員 現在、K-MIX で情報共有する場合には香川県医師会事務局に FAX を送って公開する流れになっている。以前は参照させていただく先生に紹介状等を書いていたが、6 月の診療報酬改定で K-MIX を利用することによって DX の点数が上がるため、多くの患者さんの情報を参照しているが、いきなり医師会事務局に手紙を出して、我々が院内の情報を参照させていただくことを、院内の先生方はどのように感じているのか伺いたい。

飛弾副センター長 県の医療政策課が取り扱いや運用ルールについて取り仕切りをしているので、現場の要望や先生方の御意見があれば、より利用しやすい環境になるよう働きかけたい。先生方の反応については事務局ではわかりかねる部分がある。

綾田 委員 参照させていただいている患者さんの主治医の先生が、知らないところで情報が共有されている事に対しての意見はいかがか。

六車委員長 特にないと理解している。

【新型コロナについて】

小島 委員 最近、若干コロナ患者が増えてきたが、病院側の対策としてどのような事を行っているのか。また、実際のコロナ患者や重症者は増えているのか伺いたい。

六車委員長 一定数は発症している。発熱等で来られている患者さんは、担当医判断で抗原検査を行っている。各医療機関ではマスクを解除する方向で動いているところもあるが、スタンダードプリコーションとして来院される患者さんの飛沫等は感染源ということで、診療検査等でマスクは継続としている。面会時間に関しても利用者から柔軟に対応して欲しいとの御意見もあるため、一部緩和している。コロナ前に戻ることは、現実的には厳しいと考えているが、感染の状況に応じて対応していきたい。

小島 委員 10 月から高齢者のワクチン接種が開始になるが、病院としては個人に任せているのか。

六車委員長 個人の御判断になる。

【患者サポート相談について】

元木 委員 患者サポート相談の薬剤に関する事とは、どのような質問か。

橋本副センター長 薬の飲み合わせや、用法・用量に関する事である。

【地域医療連携推進委員会について】

久保池委員 初めての参加のため用語等が難しいところもあるが、これから色々と教えていただきたい。

【健康講座について】

川崎 委員 健康講座の講演の御協力をお願いしたい。

【周知啓発事業について】

鎌田 委員 健康づくり推進課で 6 月 20 日にふらっと仏生山で食育セミナーを行った。その際、みんなの病院に

御協力いただき感謝している。保健所の事業として今月 23 日に子宮頸がんワクチンの集団接種に御協力いただくこと、併せて御礼申しあげる。

【災害時の役割について】

元木 委員 災害は地域医療になるのか。

六車委員長 災害に関しては地域で取り組むというスタンスが大事である。

木村 課員 当院は災害拠点病院であり、併せて DMAT の指定病院にもなっている。

元木 委員 熊本には派遣されたのか。

六車委員長 タイミングが合わず、当院からは派遣されていない。

六車委員長 長時間にわたり、貴重なご意見をありがとうございました。